

## 会 議 録

会 議 名	第2回山陽小野田市図書館協議会
開 催 日 時	令和5年3月7日（火）午前10時から12時まで
開 催 場 所	山陽小野田市立中央図書館2階 第1会議室
出 席 者	山陽小野田市図書館協議会委員 6名 香川真澄委員、東原秀一委員、伊藤久美子委員、梅津弘美委員、中村明美委員（以上、来館） 細井徹委員（以上、リモート） 事務局 7名 藤山教育部長、舩林社会教育課長 山本図書館長、増富中央副館長、岡原厚狭副館長、銭谷主査、荒井主任
欠 席 者	長尾誠治委員、若山さやか委員
配 布 資 料	次第、議事資料等
担 当 課	教育委員会 社会教育課 中央・厚狭図書館
会 議 内 容 及 び 結 果	<p>1. 開会</p> <p>2. 教育部長あいさつ</p> <p>3. 委員、事務局職員自己紹介</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 令和4年度事業報告について 事務局から資料に沿って説明。以下、委員からの主な質問及び回答。 委員：共生のまちづくり講座は視覚障がい者も開催を楽しみにしている。昨年県が条例を制定し、今月共生社会づくり県民フォーラムが開催された。図書館にも連絡があれば図書館でWEB開催できたのではと思いい残念である。 事務局：読書バリアフリー法が施行され、その対象となる事項を検討している。視覚障がい者のサポートは重要な仕事であり今後も協力をお願いしたい。</p> <p>(2) 令和5年度重点目標（案）、活動方針（案）について 事務局から資料に沿って説明。以下、委員からの主な質問及び回答。 委員：利用者開拓に繋がる新たな取組はあるか？ 事務局：創発会議主催のイベントの開催、また今年度開催した県内の動物園飼育員、博物館等の学芸員による講演会を継続して実施したい。 委員：魅力的だが参加人数が少ないイベントもあり魅力的にPRする方法が課題である。 事務局：市のSNSを活用して情報発信を行っているが、口コミや館内に設置したチラシを見て来る人の方が多い。今後はSNSを見て来た人が増えるよう取組を進めていきたいが、現状では難しい。 委員：学校図書館蔵書との一元化により地域の方がその書籍を活用することができないか。</p>

事務局：学校図書館を地域開放する時には貸出方法や土日の対応等の問題がある。

事務局：学校図書館は地域の貴重な資源であるため今後の課題である。

事務局：地域交流センターのスタディールームの機能と繋げて検討したい。また、児童生徒に新しい利用者カードが配布され図書館に行ってみようという気持ちを喚起することが大切である。

### (3) その他

図書館の活動全般について、委員からの主な意見、質問及び回答。

委員：利用者からの要望はあるか？

事務局：今年度は特にない。

委員：学校図書館蔵書データベースとの一元化について、利用者カードの作成にあたり郵便番号、住所、保護者の氏名等の情報が必要なのか。もし借りた本が返却されない場合、氏名と学校名まで分かればその後は学校で対応できるのではないか。

事務局：市立図書館の本を借りる時には確実に連絡がつく手段が必要。市立図書館の一般の利用者と同様の対応になると考える。

委員：歳時記は年中行事や四季折々の事物が分かるが教科書に掲載されないという聞いた。小中学校や図書館で紹介できる機会があればよい。

委員：利用者増加に繋がるのでイベントを多く開催していることはよい試みであると思う。市立図書館の役割として、マイナーなイベントもニーズがある以上は開催する責務があると思うので継続して開催していただきたい。

事務局：今まで廃止したイベントもある。イベントの開催が潜在的に利用者増加に繋がるきっかけづくりとなればよい。

委員：館外学習を実施してはどうか。

事務局：厚狭図書館では、コロナ禍以前は文化財愛護会が主催して県内の文化財を訪問していた。これを契機に文化財愛護会に興味を持っていただき活動に繋がればよい。

事務局：館外学習は広い意味では社会教育である。地域交流センターで年1回開催しているところもある。文化協会は文化バスを年1回程度開催している。

### 5. その他

事務局から今後の行事を紹介。

### 6. 閉会

以上